

鉄道ピクトリアル

1965年8月号 Vol. 15 No. 8

<特集> 終戦20周年記念

表紙 「戦後20年目の気運者」 日立製作所 提供
 カラー頁 「京阪電鉄2200系電車」 谷口 正夫 撮影
 グラフ

<終戦20周年記念特集>

1946年の表情 (国鉄品川駅構内)	高松吉太郎	8
1946年の表情 (東京周辺私鉄風景)	高松吉太郎	10
戦後の混乱期回想 (東京都電)	高松吉太郎	12
戦後色消えぬ3大運転事故	島岡 淳・共同通信他	14
中央東線松本電化	編集部	7
北辺の蒸気機関車・I	岸 幸男	39
北辺の蒸気機関車・II	岸 幸男	40
北辺の蒸気機関車・III	岸 幸男	42
札幌の誇り	袖原 誠	44
朝もやを衝いて (解説77頁)	岸 幸男	46
山へ海へ (第9回鉄道写真コンクール作品)		
納涼列車・夏の江ノ島	有馬和彦・若田部 実	48
山間盛夏 (第9回鉄道写真コンクール作品)		
山間盛夏・狩勝峠	堀江光雄・小野江光倫	50
8月の御殿場線 (第8・9回鉄道写真コンクール作品)		
山紫水明・通過列車	松嶋雅嗣・遠藤征一	52
皆さんさようなら (茨城交通水浜線)	白土 貞夫	54
フォトトピックス		
松本電化		79
中部、北陸・信越、関西、中国・九州、関東、東北・北海道など		80

記事

<終戦20周年記念特集>

国鉄の終戦処理概観	編集部	4
戦争に敗けたころ	大塚 茂	15
終戦から講和までの国鉄メモ帳		16
国鉄車両の連合軍専用指定事情 (抄)	編集部	16
終戦前後の国鉄客貨車	鶴沼竜太郎	18
ポツダム宣言		20
終戦前後の検車区	阿部 政男	21
終戦直後の客車事情	成富 博次	24
復興整備電車の運転前後	塙越 義寿	27
東京大空襲と省線電車	中川 浩一	29
終戦前後の機関区点描	成田松次郎	32
終戦前後の注目すべき運転事故	編集部	34
混乱期の私鉄一覧 20~23年の統計と資料から	和久田康雄	35
<急行列車誌上案内> 駐留軍専用列車	K. E. 生	58
大阪市路面電車戦災の記	宮本 政幸	63
東京都電戦後の混乱期を顧みて	高松吉太郎	66
東急をめぐる終戦時の思出	荻原 二郎	68
終戦当時の近鉄の車両事情	吉村 治	70
今にして思う	早川平佐衛門	72
「今月の話題」甲府一松本間電化7月1日開通		3
茨城交通水戸一上水戸駅間廃線のあとさき	白土 貞夫	55
躍進する札幌市電	袖原 誠	56
書評「列車ダイヤの話」	宮本 政幸	62
質問に答える		73
読者短信		74
鉄道の話題		77
6月のメモ帳		78
後部車から・TTKだより		87



甲府一松本間電化開通
甲府駅玄関 40.7.1 篠崎 嶽写

今月の話題

甲府一松本間電化7月1日開通

国鉄幹線輸送近代化の一環として昭和38年4月以来工事を進めていた中央線甲府一松本間95.8キロ(上諏訪一辰野間18キロを除く)が、2年2ヶ月で完成、10月のダイヤ改正により一足早く7月1日地元の喜びと期待をかけて、待望の165系をもって甲州から信濃路へ直通急行電車が運転を始めた。

この日午前、甲府・松本両駅では磯崎副総裁・天野山梨県知事ら(甲府)、下島中部支社長・西沢長野県知事ら(松本)が出席して祝賀出発式が行なわれたが、今度の電化が“アルプス電化”と呼ばれるにふさわしくてあたかも夏山シーズンの開幕、これにより京浜地区からアルプスへの道のりはぐっと縮まり、これと相まって近年とみに活潑化している黒部秘境をはじめとする南北アルプスなどの観光開発にさらに拍車をかけることになる。

総工費115億円(キロ当り1.2億円)、このうち35億円が利用債、この工費の内訳は電化・地上設備費に25億2,700万円、車両費30億2,400万円のほか松本地区の改良工事に3億7,000万円等となっており、電化工事と共に輸送力増強のため一部地区的改良工事、線増工事なども行なわれたことが、今度の中央線電化の特色とされている。

この松本電化によって、165系急行用電車88両、普通用電車10両、EF65形18両、EF13形6両を投入して、新宿一松本間の電気運転を行なうことになっているが、さし当り7月1日からは165系64両(12両編成)で、急行3往復の運転を始める。

〔表紙〕「戦後20年目の気運者」
日立製作所提供

読売ランドモノレール 39. 10
リンクススーパー・テクニカッサー 150mm
絞り16.1/100 エクタクローム E3

〔口絵〕「京阪電鉄2200系電車」

谷口 正夫
京阪電鉄閑目付近 40. 5. 11

下り急行(2201-2351-2301-2251)

左は上り特急1900系

マミヤフレックスC3 カーボル65mmF3.5
絞り11 1/100 エクタクローム E

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI

Nihon Kōtsūkyōkai Bldg
Marunouchi 4, 3 Tōkyō/Japan